

切り絵作家 望月めぐみ展を開催

京都バス「大原女号」「オオムラサキ号」など、京都市内で現在3台運行されている
ラッピングバスデザインの原画切り絵を中心とした個展

文化交流事業を企画するアート OHARA(所在：京都市左京区、代表：ノブコ・ウエダ)は、京都バス株式会社(本社：京都市右京区、代表取締役社長：吉本直樹)ならびに三千院門跡(所在：京都市左京区、門主：小堀光實)協力のもと、「切り絵作家 望月めぐみ展」を開催いたします。京都バス創業100周年記念「大原女号」、EVバス「オオムラサキ号」などのラッピングバスデザイン原画を2025年5月10日(土)から5月25日(日)までの期間展示します。

アート OHARA は、JA 京都中央旧大原支店(京都市左京区)を活用して2023年に開設されたギャラリースペース「大原文化センター・ギャラリー」で、大原在住の造形作家ノブコ・ウエダ氏が「大原で現代アートに触れる機会をつくりたい」として海外作家の作品を含む国際現代アート展などを定期的に企画開催しています。

今回、個展を開催する望月めぐみ氏は、かつて大原に在住されていた切り絵作家であり、現在は京都市東山区に工房を構え国内外で活動されており、大原では11年ぶりとなる個展となります。近年のテーマは東アジアの神話伝承や古代思想で、京都を拠点に歴史遺産を学び、寺院や茶室といった伝統建築における大型のインスタレーション作品を多く手掛けています。また、今春に三千院門跡の円融蔵にて授与される「切り絵御朱印」の原画も出展予定となっており、繊細で緻密、陰影に富んだ世界を表現した作品の数々をご鑑賞いただけます。詳細は別紙のとおりです。

新緑の大原へは、ぜひ京都バスでお越しください。

**▲京都バス 大原女号****▲京都バス オオムラサキ号****▲大原三千院「切り絵御朱印」****▲望月めぐみ氏 インスタグラム**

(別紙)

「切り絵作家 望月めぐみ展」の概要

開催日	2025年5月10日(土)～5月25日(日)
場所	大原文化センター・ギャラリー (京都市左京区大原野村町 370) ※里の駅大原斜め向かい、旧 J A 京都中央大原支店 1 階
時間	平日・土曜日 / 14:00～16:00 日曜日 / 13:00～16:00 ※月曜日は休館日となります。 ◆作家在廊日 5月10日(土)、25日(日) ※内覧 5月10日(土) 13:00～14:00 (メディア取材対応可/事前 <u>申し込み不要</u>)
入場料	無料
主催	アート OHARA
協力	京都バス株式会社、三千院門跡
その他	現地会場周辺には駐車スペースがございません。 会場までは、京都バス『特16系統・17系統・特17系統・19系統』ご利用で「野村別れ」バス停下車、徒歩約3分となります。 <参考情報> ・切り絵作家 望月めぐみ / https://www.mochime.com/ ・京都バス株式会社 / https://www.kyotobus.jp/ ・三千院門跡 / http://www.sanzenin.or.jp/ ・大原観光保勝会 / https://kyoto-ohara-kankouhosyoukai.net/

以上